

令和5年6月定例市議会提出案件について

補正予算関係

一般会計・特別会計 補正予算総額 6,200,609千円
【債務負担行為 10,438,292千円】

主な内容

○ 災害復旧関係

令和5年6月2日の豪雨による災害復旧事業

112,288千円【農林水産課・耕地課・道路管理課・河川港湾課】

令和5年6月2日の豪雨により発生した災害について、土砂、流木の撤去、閉塞した河川の復旧など、農業施設、林業施設、漁港施設、道路施設、河川施設、下水道施設の災害復旧を行います。

○ 浸水対策関係

浸水対策に係る既存ポンプの能力向上

35,000千円【河川港湾課】

近年、大雨災害が発生する中、西浜地区の水軒川以西に設置されているポンプの更新に併せて能力アップを行い、浸水被害を軽減させます。

○ 物価高騰対策関係 <総額 3,021,719千円>

(1) 物価高騰重点支援給付金の給付

1,764,549千円【生活支援第2課】

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得者世帯（令和5年度住民税非課税世帯）及び家計急変世帯に対して3万円の給付を行います。

(2) 小学校給食費の無償化など、学校給食費の負担軽減

703,239千円【保健給食管理課】

物価高騰の状況を踏まえ、市立小学校に通う児童の給食費を令和4年度3学期から引き続き、令和5年度も無償化します。また、市立小・中学校の給食費に係る食材費等の値上がり分について、令和5年2学期から追加支援を行います。

○ その他主要事業

(1) 東京圏から和歌山市に移住される方への支援（増額補正）

10,800千円【移住定住戦略課】

本市への移住相談・移住者数が増加しているため、本市での暮らしをスムーズに始められるよう、予算を増額し、より多くの移住者を支援していきます。

(2) 脱炭素化推進による再エネ・省エネ設備の導入支援

55,944千円【環境政策課】

地域・暮らし分野の脱炭素化を推進するため、太陽光発電設備、住宅向けの蓄電池等の再エネ・省エネ設備を導入する市民・事業者に対し、補助金を交付します。

(3) 地域バスの拡充

14,743千円【交通政策課】

令和4年度の実証結果を踏まえ、有功地区及び木本・西脇地区にて地域バスを本格的に導入するとともに、川永地区について、地域バスの実証運行を再度実施します。

また、現行の地域バス、デマンド型乗合タクシーについて、今回の本格導入に合わせ、補助制度を見直し、地域の特性に応じた持続可能な交通ネットワークの構築を図ります。

(4) GIGAスクール端末の更なる活用のためのネットワーク環境整備

23,639千円【教育研究所】

GIGAスクール構想で整備した生徒一人一台端末の一層の活用を進めるため、ネットワーク環境の整備を行います。

(5) 中学校給食センターの整備

(債務負担行為 9,376,676千円)【保健給食管理課】

中学校給食の全員給食化に向け、安全安心で良質な学校給食サービスの提供を目指して中学校給食センターの整備及び維持管理等を行うために必要な経費を債務負担として設定し、整備を進めていきます。

(6) コミュニティセンターの整備

220,000千円【生涯学習課】

生涯学習や地域活動及び防災の新たな拠点となるコミュニティセンターを第8ブロック(今福地区、砂山地区、吹上地区、高松地区)に令和7年度オープンを目指し、整備します。

令和5年6月2日の豪雨による災害復旧事業

【事業費】 112,288千円

■ 林道・漁港施設の復旧工事 【事業費】 11,598千円

- ・ 林道4路線(滝畑線、シダオ線、井関線、墓ノ谷線)において被災し斜面が崩壊
- ・ 漁港施設(田ノ浦漁港・雑賀崎漁港内)において、川や沖合から流木等が流入

■ 農業用施設の復旧工事

【事業費】 25,650千円

- ・ 里道、水路、ため池が被災し土砂堆積や法面が一部崩壊
- 【被災箇所】 里道14か所、水路27か所、ため池9か所



ため池 (法面の一部崩壊)

■ 道路・河川施設等の復旧工事

【事業費】 75,040千円

(道路 20,040千円、河川55,000千円)

- ・ 南東部地域などで道路・河川施設等が被災

【被災箇所】 道路18か所 河川等24か所



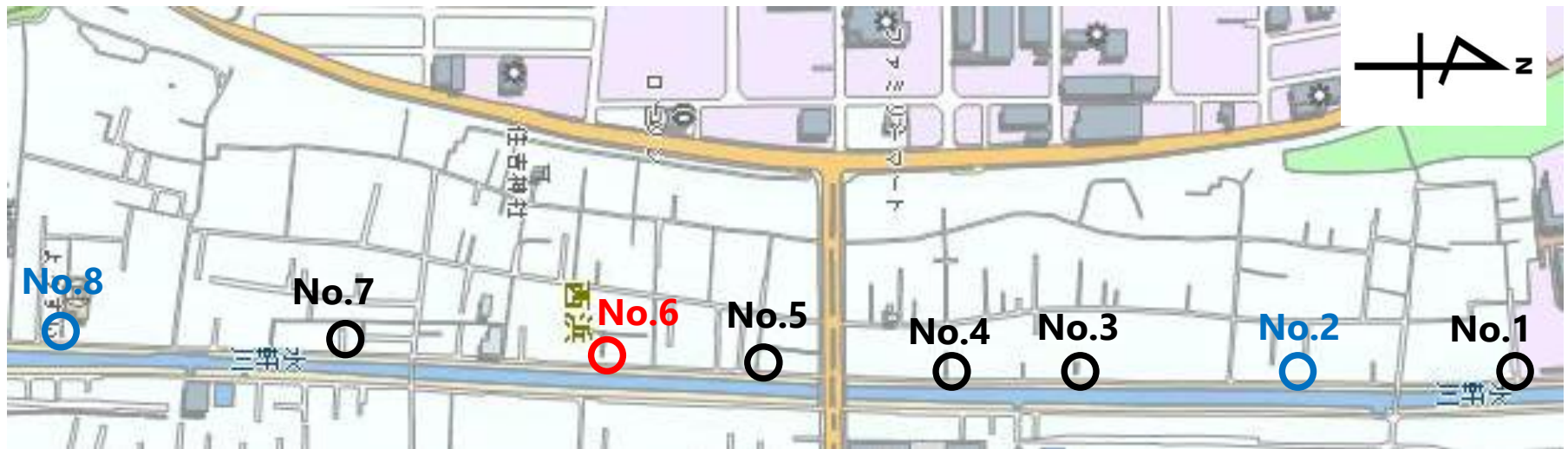
土砂撤去 東山東72号線
(大河内地内)

和歌山市西浜地区の浸水対策を施工します

【事業費】 35,000千円

近年の大雨災害が発生するなか、国の緊急自然災害防止対策事業債を活用し、公共下水道区域事業認可区域外である水軒川以西に設置されているポンプの更新に併せて能力アップを行い、浸水被害を軽減させます。

- 更新工事
- 設計委託



物価高騰重点支援給付金事業

住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し、**3万円の現金給付**

【事業費】 1,764,549千円

物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい**令和5年度住民税非課税世帯**に対して**3万円の現金給付**を行います。

加えて、本市においては、**独自に家計急変世帯に対しても3万円の現金給付**を行います。

【対象者】

①住民税非課税世帯：

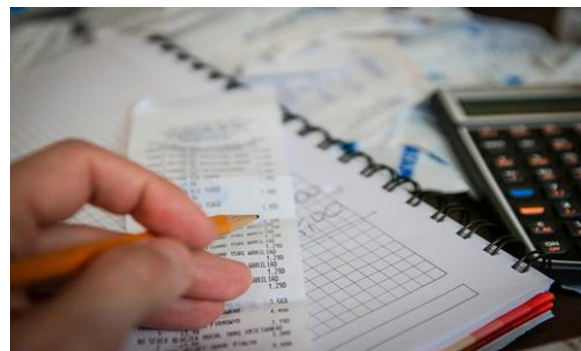
＜基準日(令和5年6月1日)時点において和歌山市に住民登録されている世帯＞

②家計急変世帯：

＜基準日(令和5年6月1日)時点において和歌山市に住民登録されており①のほか予期せず令和5年1月から10月までの収入が減少し、①の世帯と同様の状況にあると認められる世帯＞

【申請開始時期】 ※申請手続きは後日お知らせ
令和5年7月31日（予定）

【申請期限】
令和5年10月31日



①小学校給食費無償化事業 ②学校給食費支援金事業

学校給食費の負担軽減を図ります

【事業費】 703,239千円

【①小学校給食費無償化事業】（事業費 680,292千円）

市立小学校に通う児童の給食費を令和4年度3学期から引き続き、**令和5年度も無償化**

①無償化事業	校種	対象校	給食費	対象者数	1人当たり年間食数	公費負担額
	小学校	市内全51校	252円/食(*1)	13,923人	195食	680,291,430円

*1共同調理場における給食費は245円

【②学校給食費支援金事業】（事業費 小学校 21,414千円 中学校 1,533千円）

市立小・中学校の給食費にかかる食材費等の値上がり分について、令和5年度当初予算に加え、**令和5年2学期から追加支援を行います。** (*2)

*2 令和5年度当初予算での支援金は、小学校は20円、選択制デリバリー給食は24円、加太中・伏虎義務教育学校（後期）は26円

②支援金事業（追加）	校種	対象校	追加支援金	対象者数	1人当たり年間食数	公費負担額
	小学校	市内全51校	10円/食	16,730人	128食	21,414,400円
	中学校	市内全18校	10円/食	7,160人(*3)	128食	1,532,980円
	合 計					22,947,380円

*3 中学校のうち、選択制デリバリー給食に関しては、6,909人・111食の喫食率15.8%で算定

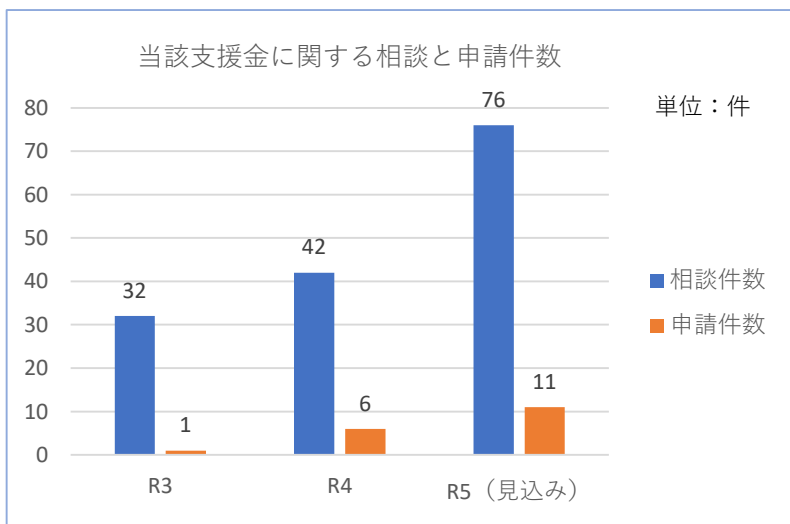
移住支援金事業（東京23区型）

本市への移住者支援を充実します

【事業費】 10,800千円

- 令和3年度に移住定住戦略課を設置し、プロモーションや移住支援策の充実に取り組む → **本市への相談・移住者数が年々増加**
- 移住者が本市での暮らしをスムーズに始められるよう、**予算を増額しより多くの移住者へ支援の充実を図る**

【予算額】 5,800千円（当初予算） + **10,800千円（補正予算）** = 16,600千円



太陽光発電設備等の導入を支援します

【事業費】55,944千円

本市の事業計画が地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）に選定されたため、再エネ・省エネ設備を導入する市民・事業者に対し、補助金を交付します。

市民向け

住宅用太陽光発電設備

1kWあたり **7** 万円（対象は10kW未満） **70**万円まで

住宅用蓄電池

補助対象経費※の **1/3**

※ 1kWhあたり15.5万円が上限

住宅用エネファーム※

30万円 ※太陽光発電設備を導入している家庭

事業者向け

事業所用太陽光発電設備

1kWあたり **5** 万円（補助上限80kW） **400**万円まで

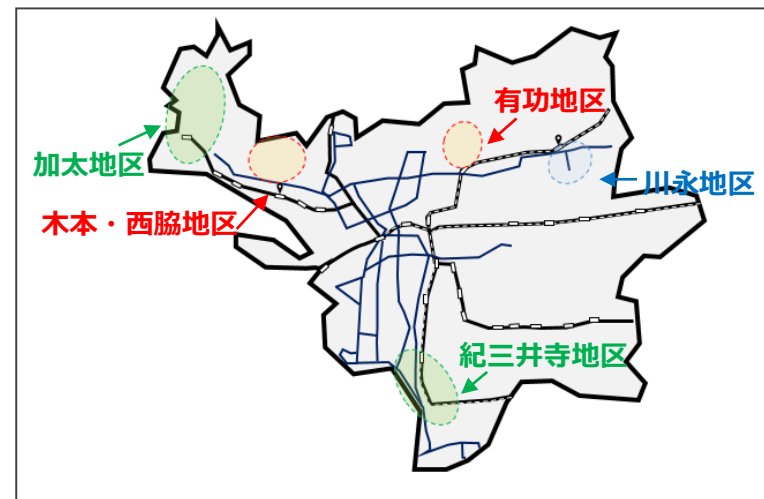


～持続可能な交通ネットワークの構築を目指して～

「地域バス」を拡充します

【事業費】 14,743千円

- 令和4年度の実証運行6地区の中で、乗車率が高く、継続的な運行が見込める**有功地区及び木本・西脇地区**にて、地域バスを本格的に導入します。
- **川永地区**において、地域バスの実証運行を再度実施します。
- 現行の紀三井寺地区の地域バス、加太地区のデマンド型乗合タクシーについて、今回の本格導入に合わせ、補助制度を見直し、**地域の特性に応じた持続可能な交通ネットワークの構築**を図ります。

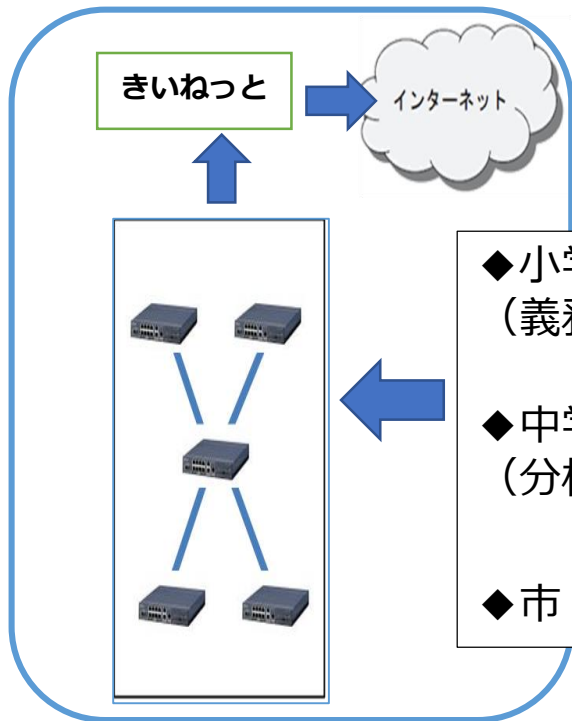


一人一台タブレット端末のさらなる活用のために ネットワーク環境整備をすすめます

【事業費】 23,639千円

GIGAスクール構想で整備した端末の活用が進み、通信容量が増加しているため、さらなる活用を進める上で、ネットワーク環境を整備します。

【現在】



【今回の整備】



- ◆小学校 51校
(義務含む)
- ◆中学校 18校
(分校含む)
- ◆市 高 1校

(現在の活用状況)

【小学校】 和歌山市 80.4%

【中学校】 和歌山市 88.9%

※小学6年生、中学3年生が前年度までに週3日以上授業でタブレットを活用した割合
(令和4年度全国学力・学習状況調査結果より)



生涯学習、地域活動及び防災の新たな拠点

高松・吹上・砂山・今福（第8ブロック）に コミュニティセンターを整備します

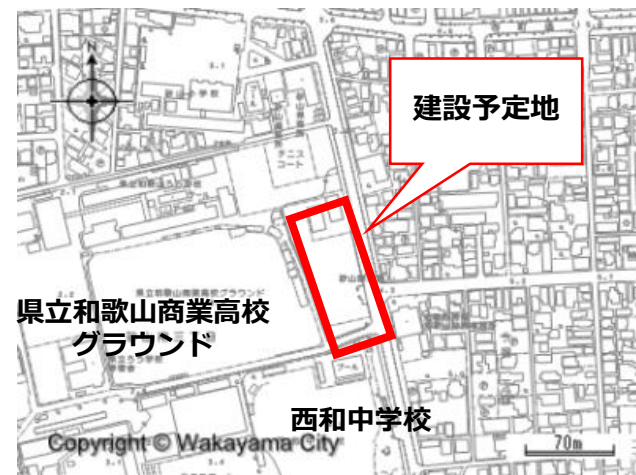
【事業費】220,000千円

生涯学習、地域活動及び防災の新たな拠点となるコミュニティセンターを第8ブロック（高松・吹上・砂山・今福）に整備します。

〈概要〉

- ◆建設予定地 和歌山市砂山南三丁目400番5外
- ◆敷地面積 4,967.70m²
- ◆延床面積 2,095.24m²
- ◆施設機能 多目的ホール、活動室、会議室、和室、調理室、自習室、広場など

令和7年度オープン（予定）



(建設予定地)